



# 初雁中だより

第 8 号

令和5年12月1日(金)

学校教育目標 学びあい 豊かな心で 未来をひらく生徒	初雁中の目指す姿 ◇目指す学校像 なりたい自分にする学校 ◇目指す生徒像 なりたい自分になる生徒 ◇目指す教職員像 「なりたい」を教え導く教職員
-------------------------------------	---

## 多様な価値観の中で生きるということ

校長 矢部智史

師走を迎えました。早いもので令和5年も間もなく終わります。これから一層寒さが厳しくなりますので、コロナ感染と合わせてインフルエンザへの感染防止や暖房器具の有効活用と省エネ対策も進める必要があります。字のごとくせわしい時期ですから、交通事故等にも気を付け、安全に生活したいものです。

今年1年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症に振り回された過去3年間を経て、新たな価値観で歩んできたという思いが強いです。日常生活においては昨年からの円安と物価高騰が進み、家計のやり繰りが厳しくなったと感じます。また、ウクライナとロシアとの戦争は人道的にも許されないことですが、世界経済やエネルギー、食糧問題にも深刻な影響を及ぼしています。もう一つ、パレスチナ自治区のイスラエルとイスラム組織ハマスとの戦闘も悲惨な状況を生みだしています。これらの対立には当事者双方の言い分があります。お互いに「正義」を掲げた争いです。どこに真実があるのか、多様な価値観の中で私たちはそれを見極めなければなりません。

戦争に限らず、自分と正反対の考え方や行動様式を取る人が目の前や周囲に溢れている中で、自分の考えを決定し実践することは精神的にも疲れることが多いと思います。しかし、私たちはこれまで以上に国も人種も性別も年齢も違った地球規模的な社会構造の枠組の中で、生きなければなりません。多様な価値観が渦巻いている中で、自己の価値観を物差しに生きていくためにはそれを裏付ける「根拠」や「理由」が必要です。そこが不明瞭であればあるほど、自分とは異なる価値観に押し切られたり飲み込まれたりしてしまいます。その根拠を生み出す素材が「情報」であり、その情報の精査に必要なのが「知識」です。そこから練り上げて自分の価値観を形成していくのが「思考力・判断力」となります。人が学び続けなければならない理由はそこにあると私は考えています。



多様な価値観の中で生きるということは大変ですが、人の数だけ様々な考え方に出会えることもまた楽しさの一つでもあります。自分には全く思いつかない創造力や英知がひしめき合っている地球だから、人類はどんな困難に出会っても乗り越えられる、そんな安心感も持っていてよいのかなと思う今日この頃です。